

# 令和 2 年 度 事 業 報 告 書

法人の名称 特定非営利活動法人 水・防災機構

## 1 事業の成果

令和2年度の事業年度は、防災と環境に関して広く市民に対して行われる講演会、シンポジウムの企画案の作成等の支援、マイ・タイムライン講習会の運営支援などを前事業年度に引き続き実施するとともに、水・防災機構が共催でマイ・タイムライン講習会を開催するなど活動の幅を広げることができました。一方、年度下半期には再び猛威を振るい始めた新型コロナウイルス感染症の影響により、活動の中止・延期を余儀なくされた事業が多く発生し、昨年度事業年度に続き、当初見込みの事業計画を達成することが出来ませんでした。一方、ネットを活用した活動を模索するためホームページやフェイスブック等を通じた情報発信に努めるとともに、FMでのダム効果の広報や子どものWeb学習用のツールを作成し、新たな活動の展開を模索しました。これにより、地域の生活環境と自然環境の改善に努めることで、人と自然の調和がとれた環境社会づくりに寄与しました。

## 2 事業内容

### (1) 特定非営利活動に係る事業

#### ① 国内外における水循環、河川・流域、防災に関する調査研究事業

- ・内容 我が国における水循環、河川・流域、防災に関する先進的な調査研究を実施し、広く市民に対してこれらの知識普及啓発を行うための基礎的資料の作成を行いました。本事業年度は、マイ・タイムラインの多摩川流域での展開にむけた諸課題の抽出、講座運営方法について分析を実施しました。
- ・日時 令和2年9月から11月
- ・場所 神奈川県川崎市、東京都大田区、世田谷区
- ・従事者人員 5人
- ・対象者 神奈川県川崎市、東京都大田区他多摩川流域の住民 不特定多数
- ・費用額 309,726円

#### ② 講演会や見学会の開催による防災・環境教育事業

- ・内容 防災と環境に関して広く市民に対して行われる講演会や見学会を企画し、当機構の主催に加え、実行委員会等の協力支援を行いました。本事業年度は、小学生を対象とした防災気象教室の主催、及び企画支援（共催など）等に従事しました。コロナ禍を勘案し講座の開催にあたっては感染症対策を徹底しました。また、コロナ禍の影響が続く中、今年度は家庭学習が続く子どもたちの夏休みの学ぶ教材を作成することを目的に、「楽しく学ぼう！ お天気とぼうさい」をWEBで公開しました。
- ・日時 令和2年7月、10月24日、令和3年5月22日
- ・場所 神奈川県川崎市、新潟県長岡市
- ・従事者人員 13人
- ・対象者 神奈川県川崎市、新潟県長岡市の小学生及び保護者など 約250人  
全国の多数の小学生（教材の配信）
- ・費用額 1,149,414円

#### ③ 水循環、河川・流域、防災に係る環境と文化の保全に関する普及・啓発事業

- ・内容 水循環、河川・流域、防災に係る環境と文化の保全に資する普及・啓発を目的とした講演会の企画・運営支援を行いました。本事業年度は、水防災意識社会の構築に向けたマイ・タイムライン講習会の支援を行うとともに、世田谷区二子玉川にて二子玉川まちメディア futakoloco 編集部（一般社団法人二子玉

川エリアマネジメント) と共催の形で講習会を開催しました。

- ・日時 令和2年8月～9月、9月26日、11月21日、23日
- ・場所 東京都大田区、兵庫県姫路市、東京都世田谷区 他
- ・従事者人員 10人
- ・対象者 東京都世田谷区の住民など約400人
- ・費用額 3,412,686円

④ 河川・流域に係る地域活性化を図る事業

- ・内容 多摩川渡し復活のための検討会を企画・開催し、多摩川流域での地域活性化方策について検討を進め勉強会の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延拡大を踏まえて今年度の開始を中止しました。また、秋田県で建設が進む成瀬ダムの事業効果の広報のため、東成瀬源流シンポジウム実行委員会と連携し、FM秋田での広報活動を行いました。
- ・日時 令和2年7月から(準備)、11月から(広報)
- ・場所 東京都調布市、神奈川県川崎市、秋田県東成瀬村 他
- ・従事者人員 5人
- ・対象者 秋田県民他 radiko ユーザーを通じて全国の不特定多数
- ・費用額 1,105,937円

⑤ 水循環、河川・流域、防災に関する情報提供事業

- ・内容 ホームページ及びフェイスブックアカウントを活用して水循環、河川・流域、防災に関して、本法人の活動内容について情報提供を行いました。
- ・日時 通年
- ・場所 神奈川県川崎市
- ・従事者人員 3人
- ・対象者 不特定多数の市民
- ・費用額 5,000円